

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				R3:現状値 ↓ R4:実績値 (目標値)			
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	観光	①あゆを活用した旅行商品提供のための仕組みづくり	◎宿泊・観光事業者と連携したあゆ漁(友釣り、火振り漁、しゃくり漁、投網漁等)体験の旅行商品化及び他の河川アクティビティ(SUP等)との連携による体験メニューの拡充	1	火振り漁見学のメニュー化 体験型観光の拡大を目指して、観光業界と漁協の連携を強化	※四万十市 四万十市観光協会 (遊覧船組合) 四万十川中央漁協	遊覧船等観光業界への働きかけ、調整				火振り漁見学のメニュー化 ↓ 0件 (メニュー化1件)			
								(実績) ・関係者と実施に向けた課題等の洗い出し(悪天候時の代替案の検討等)							
								2	体験メニューの商品造成 観光庁補助事業(サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業)での体験メニュー商品の造成	※四万十町 四万十まちおこし応援団 地域おこし協力隊	企画提案(プロボ) → 採択後、事業実施(5月頃～1月上旬まで) → 事業の検証、商品化				体験メニューの商品化 ↓ 2件 (1件以上)
											(実績) ・同事業への申請(4月) ・同事業への再申請(6月)	・同事業の内示の通知(9月上旬) ・同事業の交付決定(9/28)	・友釣り体験ツアーの実施(10/9)(参加者14名) ・火振り漁見学ツアーの実施(10/10)(参加者15名)	・アユの友釣り体験、火振り漁体験ツアーの商品化(2/1)	
								3	体験メニューの商品造成を支援 ・県水産政策課が商品化の支援を行ったあゆ関連商品(東洋町:鮎釣り体験、いの町:川釣り体験、四万十町:火振り漁体験)に関するフォローアップ ・体験メニューの造成に対する支援	※水産政策課	あゆ関連の旅行商品のフォローアップ				あゆ関連の旅行商品数 ↓ 3件 (5件)
											市町村と連携した掘り起こし → 実施主体との協議 → メニュー化に向けた調整	(実績) ・フォローアップのための事業者ヒアリングの実施	・旅行情報サイト「るるぶ&more」を活用した既存商品(火振り漁体験@四万十町)の情報発信(継続中)	・フォローアップのための事業者ヒアリングの実施	
								4	◎キャンプ場であゆ漁体験及びあゆバーベキューができる仕組みづくり	体験メニューの商品造成 観光庁補助事業(サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業)での体験メニュー商品造成の造成	※四万十町 オートキャンプ場ウエル花 夢 他町内の管理者が常駐するキャンプ場	予約制でのBBQセットへのアユ提供			
(実績)		・国事業の交付決定が遅れたため、実施できなかった													
5	◎漁業体験、環境学習、文化学習を組み合わせたSDGsを学ぶ教育旅行の企画及び誘致	体験メニューの商品造成 観光庁補助事業(サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業)での体験メニュー商品の造成(再掲)	※四万十町 四万十まちおこし応援団 地域おこし協力隊	企画提案(プロボ) → 採択後、事業実施(5月頃～1月上旬まで) → 事業の検証、商品化				体験メニューの商品化 ↓ 2件 (1件以上)							
				(実績) ・同事業への申請(4月) ・同事業への再申請(6月)	・同事業の内示の通知(9月上旬) ・同事業の交付決定(9/28)	・友釣り体験ツアーの実施(10/9)(参加者14名) ・火振り漁見学ツアーの実施(10/10)(参加者15名)	・アユの友釣り体験、火振り漁体験ツアーの商品化(2/1)								
6	②旅行商品づくりのための環境整備	◎あゆ漁インストラクターや環境学習ガイダンスを担う人材の育成	あゆ漁インストラクターの育成 インストラクターの育成に向けた協議(要調整)	※協議会	取り組み内容について協議会委員と協議 → インストラクター育成の要望確認 → 動画等も活用した指導の検討・実施				(今後設定)						
					(実績)	・高知県友釣り連盟や協議会委員への情報収集	・協議会で協議								
7	◎友釣り体験で釣獲したあゆを調理・提供する宿泊及び飲食施設のリスト作成	あゆが食べられる飲食店等の整理 あゆが食べられる飲食店、宿泊先等の情報収集・発信	※水産業振興課 協議会	企画提案(プロボ) → あゆが食べられる飲食店等情報の収集・整理(5～8月) → HP等での情報発信				あゆを提供する飲食店等のリスト化 ↓ 84件 (30件以上)							
				協議会委員との協議 → 提供に向けた仕組みづくり	(実績) ・プロポーザル審査会(4/22) ・委託契約の締結(6/2) ・飲食店等への情報収集(6/2～)	・飲食店等への情報収集	・約70店舗がHPへの掲載を希望		・計84店舗を掲載(2月中旬)						

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				R3:現状値 ↓ R4:実績値 (目標値)									
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期										
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	観光	②旅行商品づくりのための環境整備	◇駐車場や入川道等の整備	8	入川道の整備 ・入川道の案内看板設置や草刈等の維持管理の管轄漁協への委託 ・河川周辺の町有地や遊休地の調査	※四万十町 四万十川東部漁業協同組合 四万十川上流淡水漁業協同組合	入川道の維持管理、看板設置等				入川道の案内看板の設置数 15箇所 ↓ 14箇所 (20箇所)									
								遊休地等調査(R3から実施中)		活用可能な土地の整備等の検討、予算計上の検討											
								(実績) ・東部漁協による入川道への案内看板設置、草刈り等の実施(4/1~) ・上流淡水漁協による入川道の草刈り等の維持管理の実施(4/1~)		・入川道の案内看板を11箇所に設置			・入川道の案内看板を3箇所に設置								
								◇トイレ案内マップの作成		9	トイレ設置場所の案内 ・四万十川財団の川遊びマップの活用(トイレ案内) ・仮設トイレ設置の検討		川遊びマップの配布等によるトイレ設置場所の案内		活用可能な土地の整備等の検討、予算計上の検討						
													漁協等との調整、予算計上の検討								
								(実績)					・関係者との意見交換(11/25)								
										10	③「食」を前面に出した観光キャンペーンへのあゆの活用		◎県の観光キャンペーンと連携したあゆを活用した自然・体験型観光商品や飲食店情報の発信	10	観光客向けの情報発信 あゆ漁体験などを含む旅行商品や体験プログラムの情報を発信	※観光政策課 高知県観光コンベンション協会	高知県観光情報サイト「こうち旅ネット」(高知県観光コンベンション協会運営)内の体験プログラム検索ページ等において、あゆ漁体験などを含む自然・体験型観光商品等を発信(4月~)				No.2~No.4及びNo.7の目標と同じ
																	あゆが食べられる飲食店等情報のHP等での情報発信(水産業振興課)開始にあわせて「こうち旅ネット」内にリンクを貼り、観光客向けに情報発信				
								(実績) ・体験メニュー2件掲載中(火振り漁、友釣り)									・体験メニュー2件掲載中(火振り漁、友釣り)		・4月以降、HPにあゆ飲食店等情報を掲出予定		
				11	◎都市圏などで開催される観光イベントでのあゆのPR	あゆを含む高知の食のPR ・あゆを含む高知の食のPRによる誘客 ・マスコミや旅行会社に向けてあゆを含む高知の食をPR	11	※観光政策課 高知県観光コンベンション協会	都市圏などで開催するマスコミとの情報交換会や旅行会社向け観光説明会においてあゆを含む高知の食をPR(6月頃~12月頃)				高知の食のPR ↓ 季節に合わせ、情報交換会等で紹介								
		(実績)							・CREA Travellerへの四万十川あゆ掲載(7月発行号) ・メディア情報交換会(東京)であゆ食べ比べを実施(8/25) ・旅行会社向け観光説明会(大阪)で、「あゆ王国高知」を紹介(9/14)		・旅行会社向け観光説明会(東京、名古屋、大阪)で、「あゆ王国高知」を紹介(10/11、10/19、10/20、10/27)										
		食	①観光客にあゆを食べてもらおう仕組みづくり	◎あゆを提供している飲食店情報のリスト化及び情報発信	町HPへのあゆ提供飲食店の掲載	12	※四万十町 町内飲食店 観光協会等を通じた情報発信	(アンケート調査実施済)				町HPへあゆ提供飲食店の掲載と情報更新	町HPへあゆ提供飲食店を掲載 ↓ 9店舗掲載 (掲載可能なあゆ提供飲食店全店舗の掲載)								
								(実績) ・町内飲食店に再度アンケート調査を実施(6/9~16)		・あゆ提供店舗のパンフレット配布(7/19) ・町HPへ情報掲載(7/19)											
企画提案(プロポ)								あゆが食べられる飲食店等情報の収集・整理(5~8月)		HP等での情報発信											
(実績) ・プロポーザル審査会(4/22) ・委託契約の締結(6/2) ・飲食店等への情報収集(6/2~)								・飲食店等への情報収集		・約70店舗がHPへの掲載を希望				・計84店舗の情報をHPに掲載(2月中旬)							
		13	◎宿泊施設や飲食店での個人観光客向けの利きあゆ会の実施	日曜日でのあゆの販売	14	※四万十市 四万十川西部漁協 四万十川漁業振興協議会 道の駅よって西土佐	四万十川漁業振興協議会(河川5漁協が加盟)で提起調整				日曜日でのあゆの販売 ↓ 試験販売の実施 (販売の実現)										
(実績)							・関係者での協議(8/30) ・四万十川漁業振興協議会総会内での検討(9/2)		・日曜市は課題も多いため、たびひろグルメフェスでの出店も検討 ・たびひろグルメフェスに参加し、約350尾のあゆの塩焼きを販売・PR(10/29、30)												

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				R3:現状値 ↓ R4:実績値 (目標値)	
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	食	①観光客にあゆを食べてもらおう仕組みづくり	◎宿泊施設や飲食店での個人観光客向けの利きあゆ会の実施	15	利き鮎会及び食味会の開催 四万十川の各地(本流、目黒川、黒尊川、藤ノ川、大正芳川等)でとれる鮎を比べ、味の違いの体感や、美味しさを競い合う	※四万十市 四万十川漁連 四万十川西部漁協 道の駅よつて西土佐	開催に向けた調整				食味会及び利き鮎会の開催 - ↓ 2回開催 (2回開催)	
				(実績)							・利き鮎会開催(10/30) ・食味会開催(11/12)		
					◎キャンプ場やアクティビティ施設等と連携した観光客へのあゆの提供	16	観光等複合拠点へのあゆの提供 モンベルアウトドアレτζジ本山のハーベストテラスのバーベキューの食材としてあゆを提供	※嶺北漁協	ハーベストテラスでのあゆの提供				アユの出荷数 180匹 ↓ 100匹 (200匹)
				(実績)							・アユ出荷尾数80尾(10月末現在) ・アユ出荷尾数100尾(3月末現在)		
						17	あゆ及び加工品の販売 道の駅で常時天然あゆの塩焼きを提供するとともに、バーベキューの食材として地域内のアクティビティ施設と連携してあゆ及び加工品を提供	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よつて西土佐	道の駅での焼きアユ販売				新商品の開発件数 1件 ↓ 1件 (1件)
				(実績)							・あゆピザの販売開始(※現時点では、イベント等での販売のみ)		
						18	キャンプ場でのあゆの提供 オートキャンプ場ウエル花夢で予約制であゆの提供の実施	※四万十町 町内飲食店	あゆ提供の情報発信と提供場所の追加に向けた協力依頼等の実施				あゆの提供数 - ↓ 0件 (10件)
				(実績)							・国事業の交付決定が遅れたため、今後実施		
						19	能津地区来訪者への高知県産鮎料理の提供 仁淀川屋形船が漁獲した鮎を能津集落活動センターミライエが能津地区を訪れた観光客へ提供する	※能津集落活動センター ミライエ 屋形船仁淀川 日高村観光協会	開催に向けた調整(~9/30)				鮎料理提供数 - ↓ 250食 (120食)
				(実績)							・鮎定食の開発 ・関係者を招いた試食会の開催'9月) ・当初提供予定の120食が完売 ・追加で130食の販売を決定 ・合計250食が完売		
		20	◇県内飲食店でのPRイベント等による誘客 販売イベントの開催 町出身シェフの協力によるイベント開催(米こめフェスタ等でのアユメニュー提供)	※四万十町 町内飲食店	イベントの開催に向けた調整				イベントの開催回数 1回 ↓ 3回 (2回以上)				
(実績)							・あゆ小屋(あゆ販売イベント)の開催(7/16、9/23)(シェフは都合が合わず未参加)						
		21	②県外の飲食店で高知のあゆを食べてもらおう仕組みづくり ◎「高知家の魚応援の店」を活用した高知のあゆの販売促進	※四万十町	町地産外商室による販売促進活動				販売促進の取組の実施 バイヤーの招へいの実施 ↓ バイヤーの招へいの実施 (バイヤーの招へいの実施)				
(実績)							・町地産外商室がバイヤーの招へい等を実施したものの、あゆの紹介には至らなかった						

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				R3:現状値 ↓ R4:実績値 (目標値)				
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期					
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	食	②県外の飲食店で高知のあゆを食べてもらう仕組みづくり	◎「高知家の魚応援の店」を活用した高知のあゆの販売促進活動 ◇長期的に取り組む項目	22	「高知家の魚応援の店」への外販活動 全国の「応援の店」に対して、きめ細やかな営業活動やオンラインを活用した商談機会の提供を通じて、あゆの販売開拓・販売拡大を実施	※水産産業振興課 地産外商公社	「高知家の魚応援の店」への営業活動の実施				あゆを扱う県内参画事業者の商談会への参加 3回 ↓ 4回 (4回以上)				
								県内参画事業者の情報収集								
								産地見学会(1回・18店舗)・産地招へい(7社)の実施								
								県産水産物オンライン試食商談会(東京2回、大阪1回)の実施								
								(実績) ・「応援の店」へのメールマガジンでアユ情報を配信(5/26) ・県内参画事業者の情報収集(6/16、2事業者) ・「応援の店」へ配布する「獲れたてニュース」へ天然アユ情報の掲載(7/14)	・産地招へい(8/2~3、アユ関連1事業者を視察) ・産地見学会(9/13~14、商談会へアユ関連1事業者参加)	・県産水産物オンライン試食商談会@東京(10/12、アユ関連1事業者参加)	・産地見学会(2/7~8、アユ関連1事業者を視察)					
								23	四万十川のあゆの販売拡大 ・「高知家の魚応援の店」と連携した天然あゆの提供 ・豊洲市場への活あゆ等の直送	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	実店舗での天然アユ提供				豊洲市場へのあゆ出荷量 211.5kg ↓ 130.7kg (R3同程度の量を出荷)	
											豊洲市場への活アユ等出荷					
								(実績) ・豊洲市場に活あゆ等を直送(6月)	・豊洲市場に活あゆ等を直送(7月) ・計2ヶ月で130.7kgの活あゆを出荷		・「土佐料理 司」とあゆの塩焼き(冷凍)の販売について交渉成立					
								24	◎「まるごと高知」を活用した高知のあゆのプロモーション活動の展開	※地産地消・外商課 地産外商公社 水産産業振興課	あゆ王国高知の取り組み発表をリリース→メディアへの取材誘致				情報発信 0回 ↓ 3回 (3回)	
											露出獲得 メディアを集めた試食会の開催(7月)		あゆの加工品などの情報を発信(10月)	あゆにまつわる環境保全活動などを発信(1月)		
(実績)	・マスメディア20名を集めたあゆの食べ比べ(8/25)・観光政策課と連携	・10/5 あゆの食べ比べ関係者試食会 ・10/19 高知酒造イベント「仁淀川」と合わせたあゆの提供(メディア参加)														
25	あゆフェアの開催 ①レストランであゆと土佐酒の提供 ②物販であゆ関連商品の販売 ①②を合わせて「高知あゆフェア」と題して2週間程度開催する	※地産地消・外商課 地産外商公社 水産産業振興課	企画立案・調整				店舗プロモーション活動 0回 ↓ 1回 (1回)									
			7月下旬~8月 あゆフェア ②レストランあゆと土佐酒の提供 ③物販 関連商品販売													
(実績) ・近隣の「ポールボキューズ銀座」のあゆ料理の提供に合わせて、2階レストランでも提供を開始 ・6月1日にプレスリリース、多数媒体掲載(実績は別途資料有)	・食ベマルシェで販売(9/17~19)(旭川市)	・四万十地域連携企画(NEXCO西日本)での販売(10/8~10)(豊洲サービスエリア) ・四万十フェアで販売(10/8~10)(淡路島サービスエリア) ・うまいもの商店街で販売(10/30)(西土佐) ・ふるさとまつりで販売(11/3)(高知市) ・四万十市産業祭で販売(11/27)														
26	③高知県民があゆを食べる機会づくり	◎県内イベントでのあゆのPR及び提供	各種イベント等での天然アユ販売				イベントへの出店回数 2回 ↓ 8回 (5回)									
			各種イベント等での天然アユ販売													
(実績) ・四万十地域連携企画(NEXCO西日本)での販売(4/24)(豊洲サービスエリア)	・食ベマルシェで販売(9/17~19)(旭川市)	・四万十地域連携企画(NEXCO西日本)での販売(10/8~10)(豊洲サービスエリア) ・四万十フェアで販売(10/8~10)(淡路島サービスエリア) ・うまいもの商店街で販売(10/30)(西土佐) ・ふるさとまつりで販売(11/3)(高知市) ・四万十市産業祭で販売(11/27)														
27	漁協によるイベントへの出展 四万十川上流淡水漁協によるイベント出店	※四万十町 四万十川上流淡水漁業協同組合	高知市中央公園等で行われる食のイベントへの出展(豊稷祭、ふるさとまつり、土佐のおきゃく 等)				イベント参加回数 — ↓ 5回 (3回以上)									
			豊稷祭、ふるさとまつり 土佐のおきゃく													
(実績) ・土佐のおきゃくへの出展(5/13~15)	・たびひろグルメフェスの出展(10/29、30) ・豊稷祭の出展(11/5、6) ・ふるさとまつりの出展(11/11~13)	・土佐のおきゃくへの出展(3/11~12)														

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				R3:現状値 ↓ R4:実績値 (目標値)				
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期					
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	食	③高知県民があゆを食べる機会づくり	◎食育授業でのあゆの活用	28	学校給食へアユ提供(H30～) 四万十町の小中学校・高校の給食へのあゆの提供	※四万十町 町内小・中学校、高校 給食センター	町内小中学校・高校の給食へのあゆ提供				給食でのあゆの活用 1回 ↓ 町内各学校で1回以上 (1回以上)				
								(実績)	・学校給食へのあゆ提供(9/27)	・学校給食へのあゆ提供(10/25)	・学校給食へのあゆ提供(1/24)					
								29	食育授業でのあゆの提供 食育授業の食材にあゆを活用し、 県内小学校等の児童及び保護者に対して、 関心喚起につながる学習と調理実習・試食を実施	※水産業振興課 学校給食会 漁協	学校給食会との協議(4月) → 小学校等での食育授業の実施(6月～12月)				食育授業でのあゆの活用 1回 ↓ 5回 (1回以上)	
											漁協等への食材提供の協力依頼(4～6月) ※必要に応じて					
											(実績) ・委託契約の締結(4/21)		・小学校での食育授業の実施(7月:1校、 9月:1校)	・小中学校での食育授業の実施(10月3校)		
		④調理方法や食べ方の提案によるあゆの利用促進	◎宿泊施設や飲食店での塩焼き以外の多彩なメニュー(あゆ寿司、あゆ飯、一日干し、落ちあゆの塩煮等)のPR及び提供	30	※奈半利川淡水漁協 ホテル奈半利	あゆの提供について協議 → あゆ料理の提供開始 → 来年度に向けた改善の検討				宿泊施設等へのあゆの提供尾数 0匹 ↓ 850匹 (100匹)						
						新たな出荷先の開拓										
						(実績) ・宿泊施設へのあゆの出荷開始(6/9)		・提供尾数835尾	・提供尾数850尾							
						31	宿泊施設や飲食店でのあゆメニュー開発・提供 馬路温泉をはじめとする宿泊施設や飲食店において、あゆを活用したプランやメニューを開発し、利用客に提供	※馬路村 (一社)馬路温泉運営協会	開発したプラン・メニューの提供				馬路温泉あゆ活用プランの宿泊者数 80名 ↓ 112名 (100名)			
									プラン・メニューについて協議 → 利用者の意見等を取り入れながら、プラン・メニューの改善 → シーズンの振り返りと来期に向けての改善							
									(実績) ・宿泊プランにあゆフルコースやあゆの塩焼き、あゆのお刺身提供を実施 ・月1回の温泉ミーティングに行政担当者も入り、あゆ料理を提供する宿泊プランの状況を確認 ・多くの方に認知してもらうよう温泉SNSにて情報発信(6/17)		・第1四半期で実施した内容を引き続き実施	・第1四半期で実施した内容を引き続き実施 ・R4.10月末時点宿泊プラン実績数 アユフルコース:52組112名 B食(アユの塩焼きあり):1,223組 2,739名		・10月以降はアユの入荷などの観点から、アユ料理を含む宿泊プランの実施を行っていない。		
あゆづくしランチでの新メニューの提供 アユづくしランチなどでの塩焼き以外のメニューでの提供の実施	32	※四万十町委託事業者 町内飲食店	新メニューの開発に向けた調整 → あゆづくしランチなどで新メニュー提供 → あゆづくしランチなどで新メニュー提供				あゆづくしランチの提供回数 年2回以上 ↓ 1回 (年3回以上)									
			(実績)		・町内飲食店へ打診中	道の駅四万十とおわでモニターツアーにあわせて実施(3/22)										
◇協力店舗による和洋中を問わない新たな料理の開発	33	※四万十町委託事業者 町内飲食店	新メニューの開発に向けた調整 → あゆづくしランチなどで新メニュー提供 → あゆづくしランチなどで新メニュー提供				あゆづくしランチの提供回数 年2回以上 ↓ 1回 (年3回以上)									
			(実績)		・町内飲食店へ打診中											

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				R3:現状値 ↓ R4:実績値 (目標値)					
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期						
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	釣り	①子どもたちがあゆに親しむことができる環境づくり	◎子ども向け釣り教室等の開催	34	子供が楽しめる体験メニューの提供 あゆつかみ取り体験、投げ網体験等、子供が楽しみながらあゆに親しめる体験メニューの提供	※四万十市 四万十川西部漁協 四万十川中央漁協 四万十川漁業振興協議会	季節に応じて、つかみ取り体験、投げ網体験を実施				体験メニューの商品化 - ↓ 2件 (1件)					
								(実績)	・しゃくり漁体験(7/12) ・つかみ取り体験(9/9)								
								35	◎幼稚園等でのあゆのつかみ取り体験等の実施	あゆのつかみ取りの実施 幼稚園児等を対象としたあゆのつかみ取りの実施	※奈半利川淡水漁協		幼稚園単位での開催に向けた調整		あゆのつかみの開催(3~4回程度)		参加児童数 120名 ↓ 180名 (120名)
													(実績)	・幼稚園児によるあゆのつかみ取り(8/5 80名参加) ・小中学生によるあゆのつかみ取り(8/6 100名参加)			
								36	◎幼稚園等でのあゆのつかみ取り体験等の実施	あゆのつかみ取りの実施 あゆまつりでのあゆのつかみ取り(小学生以下)の実施	※四万十町 アユまつり実行委員会		あゆまつりの開催に向けた調整・協議		あゆまつり開催		つかみ取り実施回数 - ↓ イベント中止 (年1回以上の開催)
													(実績)	・新型コロナによりあゆまつりの開催中止			
								37	◎友釣り甲子園の開催	友釣り甲子園等の開催 友釣り甲子園や町長杯友釣り大会の開催	※四万十町 友釣り連盟 日本釣振興会高知県支部 高知県釣具商組合 四万十川漁業協同組合連合会、四万十川上流淡水漁業協同組合 他		開催に向けた調整		友釣り甲子園開催(7/31) 町長杯友釣り大会(9/11)		友釣り大会の開催回数 - ↓ イベント中止 (年2回以上の開催)
(実績)	・友釣り甲子園、町長杯友釣り大会のいずれも、新型コロナおよび悪天候により開催中止																
38	◎あゆ漁インストラクターの育成	あゆ漁インストラクターの育成 インストラクターの育成に向けた協議(要調整)(再掲)	※協議会	取り組み内容について協議会委員と協議		インストラクター育成の要望確認 動画等も活用した指導の検討・実施		(今後設定)									
				(実績)	・高知県友釣り連盟及び協議会委員への情報収集 ・協議会で協議												
39	◎若い世代(特に女性)をターゲットとした簡易な服装や道具で友釣りができるライトスタイルの提案及び広報	ライトスタイルの提案及び広報 釣具屋、関係団体と連携したライトスタイルの提案及び広報(要調整)	※協議会	協議会委員や関係団体等との取り組み内容の協議		関係団体等と連携したSNSでの情報発信		(今後設定)									
				(実績)	・高知県友釣り連盟及び協議会委員への情報収集 ・他県や釣り具メーカーへの情報収集												
40	◎祖父世代から孫世代への釣り文化や釣り道具の継承に向けたイベントの開催	釣り道具の継承 釣り文化や釣り道具の継承に向けた検討	※協議会	協議会委員や関係団体等との取り組み内容の協議		イベント等の実施		(今後設定)									
				(実績)	・協議会委員への情報収集 ・高知県友釣り連盟への情報収集												

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				R3:現状値 ↓ R4:実績値 (目標値)	
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	釣り	①子どもたちがあゆに親しむことができる環境づくり	◇あゆ釣り師養成講座の開講	41	友釣り甲子園等での講師依頼 友釣り甲子園、四万十川友釣りイベントでの講師依頼	※四万十町 友釣り連盟 日本釣振興会高知県支部 高知県釣具商組合 四万十川漁業協同組合連 合会、四万十川上流淡水 漁業協同組合 他	開催に向けた調整				友釣り甲子園の開催回数 ↓ イベント中止 (年1回以上の開催)	
								友釣り甲子園開催(7/31)					
								町長杯友釣り大会(9/11)					
								次年度の開催に向けた検討					
								(実績)					
								・友釣り甲子園、町長杯友釣り大会のいずれも、新型コロナおよび悪天候により開催中止					
		42	川漁体験の実施 四万十川財団が開催する川漁大人塾への協力	※四万十町 四万十川財団	川漁体験としての大人塾開催への協力(うなぎ漁)				川漁体験としての大人塾開催への協力(あゆ漁8、9、10月)	結果の検証		あゆに関する大人塾開催回数 3回 ↓ 7回 (3回)	
					(実績)		・うなぎ漁体験への協力(4/30~5/1、5/29、6/25~26)			・あゆ漁体験への協力(10/1~2、10/9)			
		43	③県外遊漁者の増加に向けた仕組みづくり	◎電子遊漁券の導入拡大や共通遊漁券の設定	漁協による電子遊漁券の導入支援 電子遊漁券の導入の検討(四万十川上流淡水漁協)	※四万十町 四万十川上流淡水漁業協同組合	電子遊漁券の導入の検討				電子遊漁券の導入 ↓ 未定 (導入の意思決定)		
							導入のための支援制度の紹介						
		44	◎キャンプ場であゆ釣り体験及びあゆバーベキューが出来る仕組みづくり(再掲)	◎キャンプ場であゆ釣り体験及びあゆバーベキューが出来る仕組みづくり(再掲)	キャンプ場でのあゆの提供 ・オートキャンプ場ウエル花夢で予約制であゆの提供の実施 ・観光庁補助事業(サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業)での体験メニュー商品造成 ※現在任意団体で申請中(再掲)	※四万十町 オートキャンプ場ウエル花夢 他町内の管理者が常駐するキャンプ場	予約制でのBBQセットへのアユ提供				体験メニューの商品化 ↓ 0件 (1件以上)		
							(実績)						
45	◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信	◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係人口講座を開催し、鏡川流域の自然を生かした多様な関わり方を実行できる人材を育成するとともに、受講生のコミュニティを構築する。講座の中で、受講生の取材先として漁協を設定することで、漁協の取組(あゆに関する取組等)の周知を図る。また、鏡川のプロモーション活動を実施することで、あゆに関する情報を発信する。	※高知市	契約準備、契約(4月~6月)		事業告知、受講生募集等(7月)	第1回講座(8月)	第2回講座(10月)	第3回講座(12月)	第4回講座(2月)	業務報告等(3月)	関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 100回 ↓ 2,103回 (200回)
					(実績)		・講座の概要、講師、スケジュール等について委託業者と協議(9月)		・講座内容の決定、告知の実施(10/27にオンライン講座説明会を実施し、講座を11月以降に実施する予定。なお、講座の告知チラシにはアユの写真が用いられている。)		・鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数は575回提供		
46	◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信	◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信	電子地域ポイントを活用した情報発信 鏡川流域関係人口ネットワークインフラ(電子地域ポイント)提供業務において、電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ぼっちり」)を活用して、鏡川に関する体験の創出、鏡川に対する多様な人材の関わりを促進等に取り組む。漁協をスポット登録し、漁協に関する体験チケットを発行することで、漁協の取組(あゆに関する取組等)の周知を図る。 ※高知市は「まちのコイン」の運営団体	※高知市	コインの配布、回収、スポット申請の承認、スポット及びユーザーの開拓等(通年)				関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 100回 ↓ 2,103回 (200回)				
					漁協からのスポット申請の承認、体験チケットの発行等(4月~6月)		体験チケットの発行、コインの配布、回収等(7月~)						
(実績)		・電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ぼっちり」)の概要、スポット登録、体験チケットの作成等の詳細について、漁協に対して説明を行い、内部で検討すると回答を得る。(6月)		・10月時点では漁協のスポット登録及び体験チケットの作成には至っていないが、「ぼっちり」の総ユーザー数は563、総スポット数は58となっており、各スポットによる体験チケットの発行、高知市からのコインの配布・回収等を行っている。		・鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数は575回提供		・漁協をスポット登録し、チェックインQRコードの設置や体験チケットの作成を行った。講座受講生が漁協に関する体験チケットを作成し、漁協への関わりを創出した。(1月・2月)		・鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数(令和4年度実績)は2,103回			

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				R3:現状値 ↓ R4:実績値 (目標値)		
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	釣り	③県外遊漁者の増加に向けた仕組みづくり	◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信	47	流域関係者で組織する協議会を活用した情報発信 ※四万十町 四万十川漁業振興協議会 四万十川東部漁業協同組合 流域漁協、行政での協議組織(漁業振興協議会)を活用した各調査結果等の情報発信	※四万十町 四万十川漁業振興協議会 四万十川東部漁業協同組合	四万十川漁業振興協議会を活用した情報発信 四万十川東部漁協HPによるあゆ釣果情報等の発信				情報発信の実施 ↓ (町HPでの情報発信の実施)		
								(実績) ・R3年度実施のあゆ資源調査の結果の共有	・あゆ病原性調査の実施	・東部漁協によるアユ斃死調査の結果共有				
								開催に向けた調整	大会開催(8/1~10/15)					
48				◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信	48	四万十川で釣った鮎の大きさを競う大会を開催 ※四万十市 西土佐商工会青年部 四万十川西部漁協	※四万十市 西土佐商工会青年部 四万十川西部漁協	大会開催(8/1~10/15)				大会の開催 ↓ 第1回開催(第1回開催)		
								(実績)	・大会の開催(8/1)	・大会の終了(10/15)				
49				◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信	49	あゆ釣り全国大会の誘致 ・高知県友釣り連盟と連携した釣り具メーカー主催のあゆ釣り全国大会の誘致 ※仁淀川漁協 水産振興課 高知市 土佐市 いの町 日高村 佐川町 越知町 仁淀川町	※仁淀川漁協 水産振興課 高知市 土佐市 いの町 日高村 佐川町 越知町 仁淀川町	誘致に向けた検討 誘致に向けた関係者協議(8/10、9/27) 関係者への情報共有 全国大会(栃木県)視察(8/25~26) メーカーによる仁淀川視察(9/21~22) 誘致に向けたメーカーとの調整(本部会場や宿泊先など)				全国大会の誘致 ↓ 西日本ブロック大会の誘致(-)		
								(実績)	・全国大会(栃木県)視察(8/25~26) ・メーカーによる仁淀川視察(9/21~22)					
50	情報発信	①SNSやイベントを活用した情報発信	◎「高知家の魚応援の店」を活用した高知のあゆの発信及び提供	◎「高知家の魚応援の店」を活用した高知のあゆの発信及び提供	50	「高知家の魚応援の店」での高知フェアの開催等 全国200店舗の「応援の店」での高知フェア、シェフグループ活動でのメニュー開発や情報発信を実施 ※水産振興課 地産外商公社	※水産振興課 地産外商公社	県内参画事業者の情報収集 フェア参加店舗の募集、フェアメニューの開発・決定 高知フェア(全国200店舗)の開催(10月~11月) シェフグループの形成(5グループ) 県内参画事業者と連携したシェフグループ活動(メニュー開発、フェア開催など)の実施 シェフグループ活動報告				あゆをテーマとしたグループ活動 ↓ 1グループ(1グループ)		
								(実績)	・県内参画事業者の情報収集(6/16、2事業者) ・フェア参加店舗の募集 ・シェフグループ活動のグループ化に向けた「応援の店」との調整	・フェア参加店舗の募集 ・シェフグループ活動内容について、グループ内での打ち合わせ(10/17、関西1グループ)	・シェフグループ活動内容において、2グループが天然あゆをサンプルで取り寄せ、1グループがメニュー化 ・高知フェアにおいて1店舗以上が天然あゆを活用したメニューを提供			
51				◎観光コンベンション協会等の団体やあゆに関わりの深い著名人と連携したSNSによる情報発信	51	県産あゆの効果的な情報発信 あゆが食べられる飲食店等の情報収集・発信やインフルエンサーと連携したSNSでの県産あゆの情報発信等を実施(再掲) ※水産振興課 地産地消・外商課 観光政策課 地産外商公社 観光コンベンション協会	※水産振興課 地産地消・外商課 観光政策課 地産外商公社 観光コンベンション協会	企画提案(プロボ) あゆが食べられる飲食店等情報の収集・整理(5~8月) HP等での情報発信 インフルエンサーによるSNSでの情報発信(6~10月) あゆPR動画の制作(5月~10月)、販促資材 SNSやHP等での情報発信 作業部会(情報発信関連)の開催による効果的な情報発信の検討、実施				SNS・HPでの記事・動画閲覧数 ↓ 70万件以上(10万件以上)		
								(実績)	・プロポーザル審査会(4/22) ・委託契約の締結(6/2) ・飲食店等への情報収集(6/2~) ・情報発信部会の開催(7/12) ・あゆPR動画の制作のための調整	・高知県SNSにてあゆ情報の発信開始(7月~) ・飲食店等への情報収集 ・インフルエンサーによるあゆ釣り体験(8/31)及びSNSでの情報発信(9/7、10) ・あゆPR動画の制作(撮影)	・高知県youtubeにて動画の公開開始(10月~) ・あゆ情報発信HP公開(12月末)		・インフルエンサーによる情報発信(3月3名) ・あゆ情報発信HPを段階的に公開(2月:飲食店情報、3月:レシピ、スペシャルコンテンツ)	
52				◎観光コンベンション協会等の団体やまるごと高知と連携したイベントによる情報発信	52	「高知家の魚応援の店」での高知フェアの開催等 全国200店舗の「応援の店」での高知フェア、シェフグループ活動でのメニュー開発や情報発信を実施(再掲) ※水産振興課 地産外商公社	※水産振興課 地産外商公社	県内参画事業者の情報収集 フェア参加店舗の募集、フェアメニューの開発・決定 高知フェア(全国200店舗)の開催(10月~11月) シェフグループの形成(5グループ) 県内参画事業者と連携したシェフグループ活動(メニュー開発、フェア開催など)の実施 シェフグループ活動報告				あゆをテーマとしたグループ活動 ↓ 1グループ(1グループ)		
								(実績)	・県内参画事業者の情報収集(6/16、2事業者) ・フェア参加店舗の募集 ・シェフグループ活動のグループ化に向けた「応援の店」との調整	・フェア参加店舗の募集 ・シェフグループ活動内容について、グループ内での打ち合わせ(10/17、関西1グループ)	・シェフグループ活動内容において、2グループが天然あゆをサンプルで取り寄せ、1グループがメニュー化 ・高知フェアにおいて1店舗以上が天然あゆを活用したメニューを提供			

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				R3:現状値 ↓ R4:実績値 (目標値)						
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期							
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	情報発信	①SNSやイベントを活用した情報発信	◎あゆに関する情報の定期的な発信やシンポジウムの開催	53	SNSやHPを活用した定期的な情報発信 村のInstagram、ホームページを活用し、あゆに関する情報を定期的に発信	※馬路村	漁期前の川の状況を発信	あゆ漁の風景を撮影(写真・動画)	あゆに関する情報(料理、レストラン、漁期等)をInstagram、ホームページで発信	Instagramを活用したあゆに関する情報発信数	1回 ↓ 3回 (20回以上)						
							(実績) ・馬路村観光HPにて「安田川定点写真」を毎日発信 ・村InstagramやFacebookで情報発信(インスタ投稿:5/12、6/9)	・馬路村観光HPにて「安田川定点写真」を毎日発信 ・村InstagramやFacebookで情報発信(インスタ投稿:9/2)	・馬路村観光HPにて「安田川定点写真」を毎日発信	・馬路村観光HPにて「安田川定点写真」を毎日発信								
							◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信(再掲)	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域の自然を生かした多様な関わり方を実行できる人材を育成するとともに、受講生のコミュニティを構築する。講座の中で、受講生の取材先として漁協を設定することで、漁協の取組(あゆに関する取組等)の周知を図る。また、鏡川のプロモーション活動を実施することで、あゆに関する情報を発信する。(再掲)	※高知市	契約準備、契約(4月～6月)	事業告知、受講生募集等(7月)	第1回講座(8月)	第2回講座(10月)	第3回講座(12月)	第4回講座(2月)	業務報告等(3月)	関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数)	100回 ↓ 2,103回 (200回)
							電子地域ポイントを活用した情報発信 鏡川流域関係人口ネットワークインフラ(電子地域ポイント)提供業務において、電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ぼっちり」)を活用して、鏡川に関する体験の創出、鏡川に対する多様な人材の関わりを促進等に取り組む。漁協をスポット登録し、漁協に関する体験チケットを発行することで、漁協の取組(あゆに関する取組等)の周知を図る。(再掲) ※高知市は「まちのコイン」の運営団体	※高知市	コインの配布、回収、スポット申請の承認、スポット及びユーザーの開拓等(通年)	漁協からのスポット申請の承認、体験チケットの発行等(4月～6月)	体験チケットの発行、コインの配布、回収等(7月～)	(実績) ・電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ぼっちり」)の概要、スポット登録、体験チケットの作成等の詳細について、漁協に対して説明を行い、内部で検討すると回答を得る。(6月)	・10月時点では漁協のスポット登録及び体験チケットの作成には至っていないが、「ぼっちり」の総ユーザー数は563、総スポット数は58となっており、各スポットによる体験チケットの発行、高知市からのコインの配布・回収等を行っている。 ・鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数は575回提供	・漁協をスポット登録し、チェックインQRコードの設置や体験チケットの作成を行った。講座受講生が漁協に関する体験チケットを作成し、漁協への関わりを創出した。(1月・2月) ・鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数(令和4年度実績)は2,103回	関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数)	100回 ↓ 2,103回 (200回)		
56	流域関係者で組織する協議会を活用した情報発信	※四万十町 四万十川漁業振興協議会 四万十川東部漁業協同組合	四万十川漁業振興協議会を活用した情報発信	東部漁協HPによるあゆ釣果情報等の発信	(実績) ・R3年度実施のあゆ資源調査の結果の共有	・あゆ病原性調査の実施	・東部漁協によるアユ斃死調査の結果共有	情報発信の実施	— ↓ — (町HPでの情報発信の実施)									

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱2 高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				R3:現状値 ↓ R4:実績値 (目標値)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
2	高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり	加工・流通販売	①県内各河川のあゆを一元的、安定的に供給するための流通体制の構築	◇集出荷システム及び冷凍加工体制の構築	1	集出荷システムの構築 安定的な販売と魅力的な商品づくりに向けて複数河川のあゆを集出荷できる体制の構築を検討	※協議会	作業部会の開催による取り組みの検討	実施主体との調整、集出荷試験の実施	試験結果の検証	次年度に向けた取り組み検討	(今後設定)
				◇県内の商品を扱う地域商社などの連携	2	県外での販売促進 ・地域商社と連携したあゆの販売促進活動の実施(再掲)	※四万十町	地域商社と連携したイベントや商談会への参加				
			②高知県のあゆのブランド化と県外へのPR及び販売	3	「高知家の魚応援の店」での高知フェアの開催等 全国200店舗の「応援の店」での高知フェア、シェフグループ活動でのメニュー開発や情報発信を実施(再掲)	※水産業振興課 地産外商社	県内参画事業者の情報収集 シェフグループの形成(5グループ)	フェア参加店舗の募集、フェアメニューの開発・決定	高知フェア(全国200店舗)の開催(10月～11月)	県内参画事業者と連携したシェフグループ活動(メニュー開発、フェア開催など)の実施	シェフグループ活動報告	あゆをテーマとしたグループ活動 ↓ 1グループ (1グループ)
			◎複数河川のあゆ食べ比べセットの商品化及び個人向け販売	4	あゆ食べ比べ商品の開発 あゆの認知度向上や取引拡大につなげるため、食べ比べセット等の商品化に取り組む	※協議会	作業部会の開催による取り組みの検討	実施主体との調整、商品化・試験販売の実施	試験結果の検証	次年度に向けた取り組み検討	(今後設定)	
			◎県や地産外商社が主催・出展する商談会への参加による販路の確保及び拡大	5	商談会への参加 県や地産外商社が主催する商談会への参加	※四万十町	町地産外商室の行う県外での営業活動であゆの取扱量を増やしていく(再掲)					商談会への参加 ↓ 7回 (1回以上)
				6	商談会への参加による販路開拓・販売拡大 高知県(地産地消・外商課)、高知県地産外商社主催の商談会に参加して、販路開拓や販売拡大につなげる <令和4年度> ○土佐の宴(大阪市):9月27日 ○県産品商談会(高知市):10月26日 ○土佐の宴(名古屋市):11月1日	※地産地消・外商課 あゆ関連事業者 水産業振興課 地産外商社	出展者募集(約2か月前から) (県・公社)協議会への情報共有	○9月27日:土佐の宴(大阪) ○10月26日:県産品商談会(高知) ○11月1日:土佐の宴(名古屋)	(県・公社)商談後のフォローアップ	商談会開催回数 3回 ↓ 1回 (3回)		
			◇地域商社等と連携した加工品の開発や外商活動	7	豊洲市場への活あゆ出荷 豊洲市場への活アユ等の出荷を継続(再掲)	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	豊洲市場への活アユ等出荷				豊洲市場への活あゆ等直送(7月) ・計2ヶ月で130.7kgの活あゆを出荷	豊洲市場へのあゆ出荷量 211.5kg ↓ 130.7kg (R3同程度の量を出荷)

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱2 高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				R3:現状値 ↓ R4:実績値 (目標値)																					
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期																						
2	高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり	加工・流通販売	②高知県のあゆのブランド化と県外へのPR及び販売	◇地域商社等と連携した加工品の開発や外商活動	8	県外での販売促進 ・地域商社と連携したあゆの販売促進活動の実施(再掲)	※四万十町	町地産外商室の行う県外での営業活動であゆの取扱量を増やしていく(再掲)				地域商社と連携した商談による成約件数 ↓ 0件 (1件以上)																					
								(実績) ・商談会への参加(4/29、6/29)	・商談会への参加(8/3、9/13)	・商談会への参加(10/5、10/12、10/26)																							
								③消費者と直接つながる販売チャンネルの創出及び長期的なファンづくり	◎県版ふるさと納税での月替わり、川替わりでのあゆの提供	県版ふるさと納税でのあゆの提供 河川(エリア)毎の流通事業者と協議し、集荷・配送体制に係る調整を実施	※水産産業振興課 政策企画課 市町村 漁協		政策企画課との調整 事業者との協議 県版ふるさと納税でのあゆの提供(6月～10月) 次年度に向けた事業者との協議				県版ふるさと納税でのあゆの提供 ↓ 県版ふるさと納税でのあゆの提供開始 (県版ふるさと納税でのあゆの提供開始)																
													(実績) ・政策企画課との協議(5/24) ・県内事業者への聞き取り(6/16、2事業者) ・政策企画課へ出品に向けた調整依頼(6/23)	・県版ふるさと納税での天然あゆの掲載開始(9/15～3/31、1事業者)	・販売の継続(計14件の申込み)																		
													◎流域市町村におけるふるさと納税返礼品への利用拡大	ふるさと納税でのあゆの提供 ふるさと納税の返礼品に地元で獲れたあゆを出品	※奈半利川淡水漁協	あゆの確保に向けた生け簀の整備 ふるさと納税への提供に向けた協議 次年度に向けた、集荷体制等の検討 ふるさと納税での提供の開始(北川村:6月から、奈半利町10月から開始)				ふるさと納税でのあゆの出荷尾数 ↓ 380尾 (1,000尾)													
																(実績) ・北川村のふるさと納税への提供開始(6月～)		・奈半利町のふるさと納税への提供開始(10月～) ・現状の出荷尾数は150尾程度であるが、冷凍在庫があり、今後も出荷を継続			・3月末出荷尾数380尾												
																ふるさと納税でのあゆ加工品の出品 道の駅と連携してアユ加工新商品の開発を行うとともに、ふるさと納税返礼品としての出品を継続		※四万十市 四万十川西部漁協	アユ加工品の開発、ふるさと納税返礼品への出品				新商品の開発件数 ↓ 1件 (1件)										
																			(実績) ・天然アユ、天然鮎塩焼き ・あゆ/パエリア(R3～) ・天然鮎の風干し(干物)(R4～)														
																			ふるさと納税でのあゆの提供 ふるさと納税の返礼品に地元で獲れたあゆを出品		※馬路村	出品時期・数量について協議 出品準備 あゆを返礼品として提供(漁獲状況により提供期間を決定する)				ふるさと納税寄付件数・金額 ↓ 5件・5万円 ↓ 17件・17万円 (10件・10万円)							
																						(実績) ・あゆ出品事業所と協議し、出品時期や発送方法、数量について協議 ・あゆ出品開始(6/18) ・第1四半期(6月)件数:0件		・引き続きあゆ出品 ・第2四半期(7月～9月)件数:5件 ・受付終了時期を再度確認(11月頃まで、なくなり次第終了)	・引き続きあゆ出品 ・第3四半期(10月～12月)件数:9件		・引き続きあゆ出品 ・第4四半期(1月～3月)件数:3件						
																						ふるさと納税でのあゆの提供 ふるさと納税の返礼品に地元で獲れたあゆを出品		※仁淀川町	ふるさと納税でのあゆの取扱量を増加させるためのPR等の検討				ふるさと納税寄付件数 ↓ 120件 ↓ 126件 (132件)				
																									(実績) ・ふるさと納税取り扱いサイト拡充6→7件		・ふるさと納税申込件数72件(11/7時点)			・ふるさと納税申込件数54件			
																									ふるさと納税でのあゆの提供 ふるさと納税の返礼品に地元で獲れたあゆを出品		※四万十町	ふるさと納税でのあゆの取扱量を増加させるためのPR等の検討				ふるさと納税寄付件数 (あゆ・あゆ加工品) ↓ 467件 ↓ 437件 (467件)	
																												(実績) ・HP写真の差し替え		・ふるさと納税のPRイベントへの参加(10/1～2、11/12～13) ・ふるさと納税申込件数258件(10/20時点)			・ふるさと納税申込件数437件(3/15時点)
																												◎あゆに関する情報の定期的な発信やシンポジウムの開催(再掲)		SNSやHPを活用した定期的な情報発信 村のInstagram、ホームページを活用し、あゆに関する情報を定期的に発信する。(再掲)	※馬路村		漁期前の川の状況を発信 あゆ漁の風景を撮影(写真・動画) あゆ漁の写真及び動画をInstagram、ホームページ あゆに関する情報(料理、レストラン、漁期等)をInstagram、ホームページで発信
(実績) ・馬路村観光HPにて「安田川定点写真」を毎日発信 ・村InstagramやFacebookで情報発信(インスタ投稿:5/12、6/9)	・馬路村観光HPにて「安田川定点写真」を毎日発信 ・村InstagramやFacebookで情報発信(インスタ投稿:9/2)	・馬路村観光HPにて「安田川定点写真」を毎日発信	・馬路村観光HPにて「安田川定点写真」を毎日発信																														

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱3 高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				R3:現状値 ↓ R4:実績値 (目標値)			
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
3	高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり	体験・教育	①子どもたちが川に親しむ学習などの実施	◎学校、地域、漁協、行政の連携による漁業体験及び環境学習の実施	1	鏡川わくわくツアーの実施 ツアーの実施により、鏡川の水質調査やアユの塩焼き体験を通して身近な自然に対する愛着や保全意識の向上を図る	※高知市 鏡川漁業協同組合	入札、契約 (4月～6月)	環境学習会実施、動画制作(7月～8月)	報告、検査等 (12月)		参加者数 12人(令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため、令和2年度の実績) ↓ 24人 (12人)			
						(実績)	・入札により委託業者を決定(8/5) ・委託契約の締結(8/8) ・環境学習会の実施(8/20 24名参加)								
						関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係人口講座を開催し、鏡川流域の自然を生かした多様な関わり方を実行できる人材を育成するとともに、受講生のコミュニティを構築する。学校、地域、漁協、行政と連携して講座を実施するとともに、受講生自身に鏡川流域への関わり方を考えてもらうことで、あゆの河川資源等に親しむ機会を創出する。(再掲)	※高知市	契約準備、契約 (4月～6月)	事業告知、受講生募集等(7月)	第1回講座 (8月)	第2回講座 (10月)	第3回講座 (12月)	第4回講座 (2月)	業務報告等 (3月)	関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 100回 ↓ 2,103回 (200回)
						(実績) ・プロポーザル審査会を開催し、委託事業を選定(7/25) ・委託契約の締結(8/31)	・講座の概要、講師、スケジュール等について委託業者と協議(9月)	・講座内容の決定、告知の実施(10/27にオンライン講座説明会を実施し、講座を11月以降に実施する予定。なお、講座の告知チラシにはアユの写真が用いられている。) ・鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数は575回提供	・講座の実施。なお、講座の一環で実施したフィールドワークの訪問先として鏡川漁協を設定し、漁協の取組等を受講生に紹介・PRした。(1月・2月) ・鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数(令和4年度実績)は2,103回						
						漁業体験及び環境学習の実施 ・市内小学校が実施する環境学習に講師(四万十川財団等)を派遣し、環境学習を支援 ・市内小・中学生とその保護者を対象に、四万十川中央漁業協同組合協力のもと、あゆのつかみ取り・投網漁体験を実施	※四万十市 四万十川財団 四万十川中央漁協	環境学習支援事業	親子川漁体験	(実績) ・しゃくり漁体験(7/12) ・つかみ取り体験(9/9) ・環境学習への講師派遣(随時)	・環境学習への講師派遣(随時)	・環境学習への講師派遣(随時)			親子体験教室の開催 — ↓ 10回以上 (1回以上)
						地域学習への川漁や環境学習の導入 協働の川づくり事業による中学生の地域学習への川漁や環境学習の導入(四万十川財団)	※四万十町 四万十川財団 地域住民	水生生物調査や環境学習を通じた川との関わりへの協力	四万十川支流での通年での水生生物の生息状況調査	(実績) ・要望のあった学校での実施への協力 ・生息状況調査の実施(5/25、26)	・要望のあった学校での実施への協力 ・生息状況調査の実施(7/21、22)				環境学習の実施 要望のある全ての学校で実施 ↓ 要望のあった学校で環境学習の実施 (要望のある全ての学校で実施)
5	環境学習会の実施 学校と連携し、環境学習会を実施(物部川、仁淀川、四万十川流域)	※自然共生課 舟入小学校 越知小学校 越知中学校 衛生環境研究所 中村高校西土佐分校 (公財)四万十川財団	実施内容協議	実施	実施内容協議	実施				環境学習会実施校数 2校(新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により一部中止) ↓ 4校 (5校)					
			(実績) ・越知小学校事前協議(5/2) ・楠目小学校事前協議(5/25,6/1,8,14) ・越知小学校環境学習(6/2) ・舟入小学校事前協議(6/7) ・楠目小学校環境学習(6/22)	・越知中学校事前協議(8/8) ・舟入小学校環境学習(9/12) ・楠目小学校環境学習(9/14) ・越知中学校環境学習(9/28) ・中村高校西土佐分校環境学習(9/30)	・楠目小学校環境学習(10/12)										
6	◎あゆ人工種苗放流体験の実施	あゆ種苗放流の一部を村内保育所の児童による放流体験とする。	※馬路村 馬路保育所 安田川漁協	放流の方法、安全管理の協議	放流体験の実施					体験回数 — ↓ 1回 (1回)					
				(実績) ・安田川漁協の指導のもと、馬路保育所園児あゆ放流体験を実施(6/9)											

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱3 高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				R3:現状値 ↓ R4:実績値 (目標値)					
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期						
3	高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり	体験・教育	①子どもたちが川に親しむ学習などの実施	◎あゆ人工種苗放流体験の実施	7	あゆ放流体験の実施 あゆ放流の一部を村内小学校の児童による放流体験として実施。	※三原村 三原村商工会 三原小学校	放流時期等の協議 → 放流体験の実施					体験回数 ↓ 1回 (1回)				
								(実績) ・放流時期、実施場所、放流量、体験対象者の協議(4月) ・村内河川5か所、小学校2・3・4年生を対象に稚鮎42kgの放流の実施(5月23日)									
8		②大人の学習・体験機会の創出	◇あゆや河川資源を題材とした文化教育イベント(俳句・絵画・写真・書道展、環境学習展)の開催	◎あゆや河川資源を題材とした文化教育イベント(俳句・絵画・写真・書道展、環境学習展)の開催	8	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係人口講座を開催し、鏡川流域の自然を生かした多様な関わり方を実行できる人材を育成するとともに、受講生のコミュニティを構築する。学校、地域、漁協、行政と連携して講座を実施するとともに、受講生自身に鏡川流域への関わり方を考えてもらうことで、あゆの河川資源等に親しむ機会を創出する。(再掲)	※高知市	契約準備、契約(4月～6月) → 事業告知、受講生募集等(7月) → 第1回講座(8月)		第2回講座(10月)	第3回講座(12月)	第4回講座(2月) → 業務報告等(3月)	関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) ↓ 100回 ↓ 2,103回 (200回)				
								(実績) ・プロポーザル審査会を開催し、委託事業を選定(7/25) ・委託契約の締結(8/31)				・講座の概要、講師、スケジュール等について委託業者と協議(9月)		・講座内容の決定、告知の実施(10/27にオンライン講座説明会を実施し、講座を11月以降に実施する予定。なお、講座の告知チラシにはアユの写真が用いられている。) ・鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数は575回提供		・講座の実施。なお、講座の一環で実施したフィールドワークの訪問先として鏡川漁協を設定し、漁協の取組等を受講生に紹介・PRした。(1月・2月) ・鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数(令和4年度実績)は2,103回	
9				◎漁協や企業と連携した産卵場造成体験、産卵見学会、遡上観察会等の実施とあゆオーナー制度の導入	9	あゆオーナー制度の実施 四万十川上流淡水漁協によるあゆオーナー制度の実施	※四万十町 四万十川上流淡水漁業協同組合	あゆオーナーの募集 → オーナーへのあゆの提供				オーナー制度参加者数 ↓ 40人 ↓ 16人 (50人)					
								(実績) ・あゆオーナーの募集(4/7～20) ・26口・16名の申し込み									

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱4 高知のあゆを持続的に活用するための仕組みづくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	R4年度				R3:現状値 ↓ R4:実績値 (目標値)			
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
4	高知のあゆを持続的に活用するための仕組みづくり	資源回復・保全	①あゆ資源の持続的活用に向けた資源回復・保全策の実施	◎流域全体の総意に基づく資源回復策の実施に向けた関係者間の協議	1	官民一体となって河川資源回復の取り組みを実施 四万十川漁業振興協議会が中心となり、行政、学識経験者等の協力を得て、河川環境改善、資源回復に向けて取り組む	※四万十市 四万十川漁業振興協議会	四万十川漁業振興協議会の開催 → 資源回復に向けた取り組みの検討				取り組みの検討			
							(実績)	・関係者での協議(8/30) ・四万十川漁業振興協議会総会内での検討(9/2) ・河床掘削による洪水時の土砂移動量評価に関する研究の委託契約書の締結(9/26)	・専門家による河床掘削に関する調査、研究(～2/28) ・国交省、土木事務所等との協議(10月)	・四万十川漁業振興協議会臨時総会内での検討(2/21) ・幡多土木事務所との協議(3/3)	取り組みに向けた協議(取り組みの方向性の決定)				
						2	基礎調査の実施と関係者による協議 資源回復のための基礎調査の実施と情報共有、漁業振興協議会での流域内漁協と行政での意見交換	※四万十町 委託事業者 四万十川東部漁業協同組合 四万十川上流淡水漁業協同組合	中期的な資源調査の実施と、調査結果に基づく回復策についての提案・協議の場の設定				協議会の開催		
								(実績) ・基礎調査等の委託開始(4/1～)		・委託業務継続中 ・東部漁協、上流淡水漁協、町での意見交換会実施(11/25)		1回 ↓ 1回 (1回)			
						3	◎漁協が行う資源保全活動(カワウ等の駆除、産卵場造成、資源調査)の流域住民への広報	産卵場整備 環境・生態系保全対策事業費交付金を「鏡川環境保全の会」に交付し、産卵場整備の実施状況等の確認等を行う。	※高知市 高知県 鏡川漁業協同組合	計画承認 → 交付決定		体験学習会(実施状況確認)(9月)	堆積土砂整備、河床の攪拌による瀬と淵の効果検証(実施状況確認)(10月)	実績報告等	整備面積 6,579㎡ ↓ 5,595㎡ (6,579㎡(現状維持))
									(実績) ・高知市環境・生態系保全対策事業費交付金の計画承認(4/8) ・同交付金の交付決定(5/9) ・同交付金の第1回概算払い(6/9)	・体験学習会の実施確認(8/28)	・堆積土砂整備の実施状況確認(10/20・22) ・同交付金の第2回概算払い(12/2) ・整備状況報告(12/7)	・同交付金の実績報告及び金額確定(3/31)			
						4	◎漁協や企業と連携した産卵場造成体験、産卵見学会、遡上観察会等の実施とあゆオーナー制度の導入(再掲)	CATV等での資源保全活動のPR 町CATVなどでの活動のPR	※四万十町 委託事業者 四万十川東部漁業協同組合 四万十川上流淡水漁業協同組合	カワウ追払いの実施					カワウ駆除数 34羽 ↓ 55羽 (46羽)
(実績) ・カワウの追い払いの実施(4/1～5/31)		・カワウ駆除数 36羽	・カワウ駆除数 19羽												
5	◎漁協や企業と連携した産卵場造成体験、産卵見学会、遡上観察会等の実施とあゆオーナー制度の導入(再掲)	あゆオーナー制度の実施 四万十川上流淡水漁協によるあゆオーナー制度の実施(再掲)	※四万十町 四万十川上流淡水漁業協同組合	あゆオーナーの募集				オーナー制度参加者数							
			(実績) ・あゆオーナーの募集(4/7～20) ・26口・16名の申し込み	オーナーへのあゆの提供				40人 ↓ 16人 (50人)							
6	◎あゆ人工種苗生産事業の安定的な継続に向けた関係団体(漁協、市町村、県等)による支援	あゆ人工種苗放流の継続に向けた関係団体との協議 あゆ人工種苗放流量の増加に向けて関係団体との協議を実施	※水産振興課 内水面漁業協同組合連合会 漁協 市町村	種苗生産の現状を整理	関係団体への説明		要望調査等の実施	市町村等によるあゆ種苗放流量 34.7トン ↓ 33.2トン (35.7トン)							
			(実績) ・関係団体とのあゆビジョン及び県産あゆ人工種苗に関する意見交換(6/2)		・関係町との情報共有(10月末)										
7	◇河川ごとの課題の整理に向けた調査研究の実施とそれに基づく資源回復アクションプランの策定	あゆ資源回復に向けた検討 鏡川清流保全環境調査委託業務により、鏡川におけるあゆの遡上状況及び産卵場の調査を行い、あゆ資源回復に向けた対策を検討	※高知市 鏡川漁業協同組合	入札、契約(4月) → 中間報告(6月)			あゆの産卵場調査(11月)	最終報告等(2月～3月)	天然あゆ遡上数 約4.2万尾 ↓ 9.4万尾 (50万尾)						
			(実績) ・入札により委託業者を決定(4/28) ・委託契約の締結(5/2) ・アユ遡上調査の実施(5/23・24)		・あゆの遡上状況調査(5月)	中間報告(12月)	・アユ産卵場調査の実施(11/25) ・中間報告(12/7)	・最終結果報告(2/10)							